

施設カルテ

【基本情報】

				報告日	自動計算
資産番号	1-(2)-1	施設用途	その他施設(市民文化・社会文化系施設)	2025/6/16	
主幹部署	市民会館	地区区分	飯能地区	施設構造	01.鉄筋コンクリート造
施設名称	劇場	建物名称	飯能市市民会館	所在地	大字飯能226-2
建築面積(㎡)	4,148.08	延床面積(㎡)	7,486.89	建築年度(年)	1984
階建/階	地上2階地下1階建	建物取得価額(円)	3,602,585,000	耐用年数(年)	80
用途地域	第一種低層住居専用地域	建ぺい率(%)	50%	公債残高	0
敷地面積(㎡)	9,892.81	貸室面積(㎡)	858.51	容積率(%)	80%
営業時間	8:30~21:30	休日	月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始	部屋数(室)	17
身障者用トイレ	有	手すり	有	駐車場(台)	70
自動ドア	有	点字ブロック	有	スロープ	有
自然エネルギー	無	屋上・壁面緑化	無	車いす用エレベーター	有
アスベスト	無	アスベスト対策完了日	-	LED化	無
耐震基準	【新耐震基準】 (昭和56年6月以降建築)	代替電源設備	有	冷暖房設備	有
耐震補強実施	不要	通信設備	有	調理設備	無
耐震診断完了日	-	避難所指定	有	入浴設備	有
耐震補強完了日	-	備蓄倉庫	無	計画収容人数(人)	-
正規職員(人)	3	会計年度任用職員(人)	-	運営方法	直営(市)
設置目的	市民の文化の向上と福祉の増進を図るため				

【歳入】

(単位:円)

科目	令和4	令和5	令和6
使用料	21,286,562	19,574,513	16,574,172
手数料	0	0	0
指定管理者使用料収入	0	0	0
補助金	0	423,000	0
交付金	0	0	0
負担金	0	0	0
その他収入	3,150,238	2,278,398	872,486
歳入合計	24,436,800	22,275,911	17,446,658

【歳出】

(単位:円)

科目	令和4	令和5	令和6
光熱水費(ガス)	5,736,495	4,594,145	4,926,431
光熱水費(水道)	1,201,417	1,051,158	938,131
光熱水費(電気)	15,335,764	16,378,262	14,920,642
修繕料(施設)	2,482,667	1,176,010	2,049,300
修繕料(備品)	90,816	112,277	141,900
備品購入費	2,613,600	0	0
委託料	76,490,891	76,466,826	74,536,693
手数料	1,409,635	2,177,899	1,812,153
使用料・賃借料	548,555	396,593	336,875
補助金・負担金	35,000	43,000	42,000
その他支出	2,595,422	2,747,576	8,176,127
人件費	23,190,000	23,070,000	23,559,000
歳出合計	131,730,262	128,213,746	131,439,252

【利用状況】

年度	令和4	令和5	令和6
営業日数(日)	308	309	307
施設利用人数(人)	55,998	62,260	59,411
1日当たり施設利用人数(人/日)	182	201	194

【その他】

改修	大規模改修履歴	完了年月日	改修費用(円)	改修内容
		平成22年3月29日	69,757,800円	外壁・屋上防水等改修工事
		平成23年3月31日	142,485,000円	空調設備等改修工事
		平成26年6月30日	49,708,080円	非常用発電機設置工事(旧発電機が故障・破損のため)
劣化状態	不具合の箇所	不具合の状況		
	敷地内(案内板、外灯等)	鉄部腐食あり。		
	屋上(屋根仕上げ)	シート防水劣化により漏水あり。		
	外壁(タイル等)	タイルの浮き、ひび割れあり。		
	内装(漏水によるシミ・カビ等)	大ホールやトップライト部等漏水あり。地下部分はカビ発生箇所複数あり。		
	内装(天井等)	大小ホール及び大ホールホワイエの天井が既存不適格。		
	衛生設備(給排水管の腐食)	漏水により使用禁止している便器あり。一部污水管に漏水あり。		
	衛生設備(受水槽)	受水槽内外に腐食、防虫パッキン破損あり。		
	照明設備	玄関ホールシャンデリアの故障あり。		
	スイッチ、コンセント	舞台のコンセントは既存不適格。		
	消防設備	各設備に内部腐食等あり。		
	各種法定点検	エレベーター設備が既存不適格の指摘あり。		
特記事項 (個別施設計画を踏まえ担当者として特に取り組んだこと)				
工事費等の予算化が難しい中で、保守業者とも相談し、設備の更新でなくてもよいものは部品交換等に対応した。				
懸念事項、施設の方向性				
修繕が計画どおり実施できないなかでも老朽化は日々進行している。そのため修繕に要する費用及び要修繕箇所は増加し続けている。				